

各位

会社名 株式会社富士テクニカ
代表者名 代表取締役社長 糸川 良平
(JASDAQ・コード 6476)
問合せ先 取締役執行役員財務部長 村上 正明
電話番号 055-977-2300

当社子会社に対する債務引受け等に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社子会社である株式会社富士アSEMBリシステム（以下、「FAS」といいます。）との間で債務引受け契約（以下、「本債務引受け契約」といいます。）を締結すること等を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 債務引受けによる当社子会社に対する金融支援について

1. 債務引受けを行うに至った経緯

当社は、株式会社宮津製作所（以下、「宮津製作所」といいます。）との事業統合を核とする事業再生計画（以下、「本事業再生計画」といいます。）を策定し、平成 22 年 9 月 17 日付で株式会社企業再生支援機構（以下、「機構」といいます。）から再生支援の決定を受けておりますが、本日開催の取締役会において、本事業再生計画に基づき、FAS の主要な取引先金融機関に対する金融債務を当社が引き受ける債務引受け（以下、「本債務引受け」といいます。）を行うため、FAS との間で平成 22 年 12 月 15 日付で本債務引受け契約を締結することを決議いたしました。

なお、FAS は、本債務引受け契約に基づき、当社に対し、本債務引受けの対象となる債務の額と同額の債務を負う予定です。また、本債務引受けの対象となる債権については、当社による本債務引受けの実行前に、機構が FAS の主要な取引先金融機関から買い取る予定です。

（本事業再生計画の概要）

本事業再生計画は、①国際競争力のある高精度金型領域における国内勢同士の不毛な消耗戦からの脱却、②新興国における生産拠点の増強によるコスト競争力の強化、③当社及び宮津製作所の強みである品質及び納期管理能力と上記コスト競争力強化の組み合わせによる競争優位性の構築を基本方針としております。

当社は、これらの基本方針を実現するため、宮津製作所との事業統合を行うことにより、相互の強みを最大限に活かし、不足していた経営資源を補い合うとともに、国内における消耗戦の緩和を図り、持続的な競争力強化を目指します。

また、機構に対する第三者割当増資の方法による優先株式の発行により約 53 億円の資金調達を行い、上記事業統合に係る費用、統合後の運転資金及び構造改革費用等に充てるとともに、財務基盤及び信用力の一層の強化を図ります。さらに、当社は、機構及び株式会社静岡銀行（以下、「静岡銀行」といいます。）に対して優先株式を発行し、総額約 31 億 3,800 万円の債務の株式化（デット・エクイティ・スワ

ップ。以下、「DES」といいます。)を実施することにより、有利子負債を減少させ、事業統合後の会社の財務健全化を図ります。

なお、本事業再生計画の概要の詳細は、平成22年9月17日に公表いたしました「企業再生支援機構による富士テクニカへの支援決定及び事業譲受のお知らせ」の「II. 事業再生計画の概要」をご覧ください。

2. 債務の内容

(1) 借入先

現時点における借入先はFASの主要な取引先金融機関ですが、上記のとおり、当社による本債務引受けの実行前に機構による債権の買取りが行われる予定です。

(2) 債務の種類

借入金

(3) 債務の額及び債務の総額に対する割合

本債務引受けの対象となる債務の額は約19億5,260万円であり、当社の最近連結会計年度の末日における債務の総額(約166億553万円)に対する割合は11.8%になります。

3. 債務引受けの概要

(1) 債務の引受先

当社

(2) 債務引受けの対象となる金額

借入金 約19億5,260万円

4. 子会社の概要

(1) 商号	株式会社富士アセンブリシステム	
(2) 本店所在地	岐阜県関市新迫間71番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 渡辺 博	
(4) 事業内容	溶接設備の設計・製作、電気設計、ヘミングシステム、ロボットテ ィーミング	
(5) 資本金の額	60,000,000円	
(6) 設立年月日	平成12年7月11日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社富士テクニカ 83.3%	
(8) 上場会社と当該会社との関係等	資本関係	当社が発行済株式の83.3%を保有しております。
	人的関係	役員の兼任が4名ございます。
	取引関係	当社製品の製造、当社所有建物の賃借、当社より資金の借入を行っております。
	関連当事者への該当状況	当社子会社に該当します。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (百万円)			
	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
純 資 産	561	△28	2
総 資 産	4,132	4,256	3,704
1株当たり純資産 (円)	467,500	△23,333	1,666
売 上 高	4,587	8,616	3,388
経 常 利 益	△181	△475	30
当 期 純 利 益	△104	△587	30
1株当たり当期純利益 (円)	△86,666	△489,166	25,000
1株当たり配当金 (円)	0	0	0

II. 子会社に対する債務引受け及び当社に対するDESに伴う当社業績への影響について

1. 事実の概要及び決定の理由

当社は、前述のとおり、本日開催の取締役会において、本事業再生計画に基づき、FASの主要な取引先金融機関に対する金融債務約19億5,260万円を当社が引き受ける本債務引受契約を平成22年12月15日付で締結することを決議いたしました。

また、同日開催の取締役会において、当社の機構に対する金融債務約8億6,299万円及び静岡銀行に対する金融債務約22億7,499万円につき、平成22年12月15日付でDESを行うことに関する各契約を締結することを決議いたしました。

2. 今後の見通し

FASの債務を引き受けることにより、当社において支払利息の増加が見込まれるものの、DESによる支払利息の軽減により、当社の平成23年3月期通期の個別及び連結決算において経常損益にそれぞれ約1,008万円のプラスの影響が生じる見込みです。

(ご参考)

当期(平成23年3月期)の連結業績見通し(平成22年9月17日公表分)及び前期の実績(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成23年3月期)	9,779	△1,845	△1,866	165
前期連結実績 (平成22年3月期)	15,832	396	257	299

以 上